

住民自治協議会だより

第21号

発行 小田切地区住民自治協議会

〒380-0876
長野市大字山田中2545

TEL026-229-1511 FAX026-229-2074
E-mail otagiri-jitikyoun@ngn.janis.or.jp

平成30年度 小田切地区住民自治協議会総会

平成30年4月20日開催

住自協全体

- ・地域おこし協力隊との協働
- ・地域間交流事業の実施
- ・三地区交流会参加
- ・「ながの未来トーク」の開催
- ・乗合タクシーの停留所設置と予約業務
- ・住自協だより発行

総務・安全防災部会

- ・災害時緊急無線機の維持管理
- ・総合防災訓練の実施
- ・やまざと支援交付金事業の実施
- ・期日前投票支援事業の実施

福祉・健康部会

- ・小田切地区地域福祉活動計画の実施
- ・福祉委員会による各種事業の計画と実施（高齢者の集い、喜寿の祝、地域福祉大会など）
- ・緊急連絡先キット各戸設置
- ・地区健康保健活動の実施

環境・地域活性化部会

- ・環境美化活動の推進やゴミ集積所の整備
- ・農作物の有害鳥獣対策
- ・観光推進事業や地域活性化事業

教育・文化部会

- ・公民館連携による各種行事の事業推進
- ・青少年子ども育成活動と次世代育成
- ・人権啓発活動や社明の住民集会の実施

新任住自協正副会長



新区長



会長挨拶

小田切地区住民自治協議会長 関口 宜 桁



この度、会長という大役に推挙いただきました。平成5年に地蔵平の地に居を構え四半世紀、この間、皆様のご厚情に支えられ今日に至っております。少子高齢化問題は国においても重要課題であります。特に中山間地域では顕著にみられ、当地の高齢化率は、まさに50%を超えようとしております。しかし、このような状況下に於いても、地域の皆さんは、活力ある小田切、魅力ある小田切の構築にご尽力なされており深甚なる敬意を表します。もとより微力ではありますが、行政、関係機関等とも連携を密にしながら、皆様のお役にたてますよう努める所存でおります。更なるご指導ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。

人事異動

《小田切支所》

一転入一	支所長補佐（七二会公民館係長）	松本 洋
	保健師（北部保健センター）	山崎 綾美
一転出一	教育委員会 保健給食課長補佐 （支所長補佐）	竹内 昭夫
	長野市保健所 保健課（保健師）	丸山みどり

一退職一	地域おこし協力隊
	涌田 周（5月末付）
	安西 晋（11月末付）

《小田切公民館》

一新任一	公民館職員	細尾 ^{ひろこ} 裕子	一退職一	公民館職員	田村 恭子
------	-------	----------------------	------	-------	-------

一般会計収支予算

<収入>

公的補助金	交付金	5,295,000
	補助金等	1,840,000
負担金	各区負担金等	1,258,000
雑収入	寄付金等	72,344
繰越金	前年度繰越	1,564,656
収入合計		10,030,000円

<支出>

事業費	総務・安全防災部会	882,000
	福祉・健康部会	2,752,000
	環境・地域活性化部会	697,000
	教育・文化部会	1,380,000
運営費	事務局費	3,597,000
配分・委託費	各区配分、団体補助等	349,900
繰出金	福祉自動車	250,000
予備費		122,100
支出合計		10,030,000円

まちづくり活動支援事業特別会計

乗合タクシー「かつら号」停留所設置経費等

<収入>

補助金	市より補助金	457,000
繰入金	住自協より	200,000
収入合計		657,000円

<支出>

事業費	試乗体験費	36,000
消耗品費	停留所標識(打込型)	555,000
	停留所標識(設置型)	66,000
支出合計		657,000円



小田切地区 空き家実態調査 (平成29年12月区長会調べ)

小田切地区への移住希望者等への空き家紹介がなかなかできない状況にあります。まずは現状把握のため、平成29年12月に全区長に依頼し、各区の実態調査を実施しました。住居可否は、空き家経年や外観目視などから判断しており、専門業者が判断しているものではありません。

(軒)

区	集落	総軒数	居住数	空家数	居住可※
深 沢	平 林	10	5	5	4
	下 深 沢	19	15	4	4
	平 深 沢	12	9	3	2
	上 深 沢	15	13	2	2
計		56	42	14	12
吉 窪	新 橋	5	5	0	—
	滝 沢	4	4	0	—
	本 郷	12	7	5	1
	栗 林	6	1	5	1
	花 上	6	6	0	—
	鍋 割	6	2	4	3
	吉 野	2	0	2	0
日 方	20	10	10	1	
栃 久 保	6	4	2	0	
計		67	39	28	6
下 宮	保 玉	3	3	0	—
	無 及 平	5	5	0	—
	榎	8	4	4	0
	新 分 市	4	1	3	0
	草 崎	5	2	3	1
久 保	12	8	4	1	
計		37	23	14	2
上 宮	仏 工 伝	6	6	0	—
	小 淵	5	4	1	1
	舟 久 保	5	2	3	2
	麻 庭	23	20	3	1
計		39	32	7	4
上 山	二 ツ 石	7	5	2	0
	東 繁	5	3	2	0
	西 繁	3	1	2	0
	日 影 繁	4	3	1	1
	小 野 平	7	4	3	1
計		26	16	10	2

区	集落	総軒数	居住数	空家数	居住可※
下 山	田 中	7	4	3	1
	矢 平	3	1	2	2
	川 後	10	6	4	1
	松ノ木	8	6	2	1
	枇 杷	5	5	0	—
計		33	22	11	5
国 見	百 瀬	7	4	3	0
	湯 山	22	16	6	4
	西ノ久保	5	4	1	1
	国 見	22	16	6	3
計		56	40	16	8
中 組	下 小 鍋	22	18	4	3
	田 成	2	2	0	—
	大 川	4	1	3	1
計		28	21	7	4
千 木	栃ノ木	6	3	3	3
	平 石	6	4	2	2
	千 木	13	8	5	4
計		25	15	10	9
地蔵平	地 蔵 平	43	41	2	1
	あけぼの	27	25	2	1
計		70	66	4	2
裾 花	西裾花台	106	99	7	7
	計	106	99	7	7
小田切地区合計		543	415	128	61
率			76.4%	23.6%	

※居住可は現状及び小規模修繕で居住可軒数(外観等での判断)

地域包括ケアシステムの構築にむけて



小田切地区の地域包括ケアシステム構築に向けて、29年度各区の「お茶のみサロン」や地域福祉懇談会で皆さんから聞いた意見の集約会議を2月5日に開催しました。今年度はこの集約結果から地区全体検討会を開催し、「支え合い活動計画」を策定していきます。

29年度 喜寿 祝賀会

福祉委員会 会長 原田 節子

3月2日に松代温泉の松代荘で開催しました。対象は昭和15年4月2日～16年4月1日生まれの名で4名が出席され、住自協より記念品を贈呈し、西山さんの祝舞「初春の賦」披露があり、参加者一同乾杯にてみなさんの更なる健康長寿を祈念しました。



30年度 小田切いきいきサロン

ふきのどうの会 山回 明子

今年度の小田切いきいきサロンは、介護予防教室、交通安全教室などを取り入れて皆さんにより楽しいひと時を過ごしていただけるよう計画しています。



4月19日

開催予定日	会場
済 4月19日(木)	新橋いこいの家
5月25日(金)	かがやき広場
6月22日(金)	錬成センター
7月27日(金)	かがやき広場
8月24日(金)	かがやき広場
9月14日(金)	かがやき広場
10月26日(金)	かがやき広場
11月28日(水)	かがやき広場
12月21日(金)	かがやき広場
3月28日(木)	新橋いこいの家

※詳細開催通知は3か月毎に発行します

地域おこし協力隊の活動を終えて

涌田 周

5月末日をもちまして小田切地区担当の地域おこし協力隊の任期が終了いたします。3年前の6月に大阪からやって来て、地域おこしをする前にまず私のことを皆様にご存知いただき、地区のことよく知ろうと思ひ、手掛けた仕事が協力隊新聞の発行でした。毎月、1軒ずつ配り、時には家に上がらせてもらいお茶と漬物を御馳走になったり、小田切の昔話を聞かせていただきました。この地区のことを知る上で良い勉強をさせていただき、私のことも知ってもらい良いきっかけになったと思っています。また、小田切地区福祉自動車の運転協力員として、高齢者の方の悩みや楽しみなどを聞かせていただく良い機会となりました。小田切鉄道模型展示館の営業では、地区外から鉄道愛好家や家族連れなど、多くの方に足を運んでいただき、少しは地域おこしになったかなと自負しています。

任期終了後も小田切地区に残る予定です。いろいろな方に助けていただき、人とともに生きていく大切さを実感いたしました。協力隊は卒業しますが、地域おこし活動は継続して参ります。地区の皆様、小田切支所の皆様、本当にありがとうございました。

乗合タクシー「かつら号」 順調なスタート

住自協の受付 トラブルなく 利用者大幅増

完全予約運行で再スタートした新「かつら号」は、4月4日に出発式を支所前駐車場でいき、順調に利用されています。4月の利用状況は、走行10日、36便、56人で、前年同月の走行8日、21便、23人を大幅に上回って利用されています。

現在は仮停留所で運行していますが、新しい停留所は「ながのまちづくり活動支援事業」補助金にて、現路線バス停を除く41か所に設置します。

予約・お問い合わせ 住自協事務局 TEL. 229-1511



出発式

福祉自動車運転協力員研修会



3月5日

NPO小田切オアシス「ふきっ玉採りツアー」



3月17日 小野平山ふき実験農場



乗合タクシー
仮停留所設置
(路線バス停
除く41か所)



3月

福祉委員会 総会



4月11日

富士の塔遊歩道整備



4月17日 20名参加

「郷土を知る会」(県シニア大学OB会) 訪問



4月25日 浄蓮寺

やまびこ

小田切ムラの4月1日人口は915人と県内市町村では、御嶽山と百草丸の大滝村と同じ位となる。それにしても前月比△14人とは、進学や就職期でもあろうとは思いますがこれほどの大幅減には驚いた。尚、5月1日人口は905人で前月比△10。

空き家紹介ができるように、空き家調査を行った。空き家率は23.6%だが、この内居住可(小規模修繕程度含む)は約半分の60軒程ある。ただし農作業などで、空き自宅を昼間に利用する人も多く見受けられ、移住希望者に紹介できる空き家は意外に少ない。